

令和2年度における岩手県内のカシノナガキクイムシの発生時期 ～2種類のトラップでの比較～

1 はじめに

ブナ科樹木萎凋病（以下「ナラ枯れ」という。）の被害木駆除には、病原菌の媒介昆虫であるカシノナガキクイムシ（以下「カシナガ」という。）の発生時期を明らかにし、発生前に作業を完了することが重要です。

岩手県のカシナガの発生時期については、概ね6月下旬から発生が見込まれること、山形県で開発された初発日の予測式が本県でも適合すること、発生時期の地域差が示唆されたことなどが報告されています（成果速報No.310、No.311、No.327、岩手の林業No.738）。

来するカシナガを調査して発生開始時期が把握されています。また、被害は県北まで拡大していますが、県北でのカシナガ発生時期は明らかになっていません。そこで今回は、県北地域を含めた、これまでより広い地域で、2種類のトラップを用いてカシナガの発生時期を調査しましたので結果をお知らせします。

2 調査方法

これまでの調査は、スカートトラップを用いてカシナガの被害木からの羽化・脱出時期を調査したものです。他県では、主に林内に飛

調査は、県内の被害地5箇所（一関、西和賀、大船渡、大槌、普代）で行いました。

カシナガの発生調査は、スカートトラップと簡易衝突板トラップ（以下「簡易トラップ」という。）の2種類のトラップを用いて行いました（図1）。スカート

トラップは、被害木の根元に黒色の防草シートをスカートのように

巻き付けて、発生（羽化・脱出）してくるカシナガを捕獲する方法です。簡易トラップは、林内のナラなどに設置して、飛来してきたカシナガがトラップ（図1の矢印部分）に衝突・落下したものを捕獲する方法です。トラップの設置は、両トラップとも同じ被害林分内に、令和2年6月10日～17日に行いました。スカートトラップは、ミズナラ枯死木5本を基本とし、枯死木が確保できない場合は穿入生存木にも設置しました。簡易トラップは、設置林分の中心に1基、その東西南北に約10mずつ離して計5基を、高さ1.2m付近に設置しました。設置木は、ナラ類を基本としましたが、一部はカエデなど他の広葉樹にも設置しました。

3 捕獲経過と初発確認日

大槌町のカシナガ調査事例を図3に示しました。両トラップとも6月23日に初めてカシナガが確認され、

スカートトラップ

簡易衝突板トラップ



図1 調査に使用したカシナガトラップ

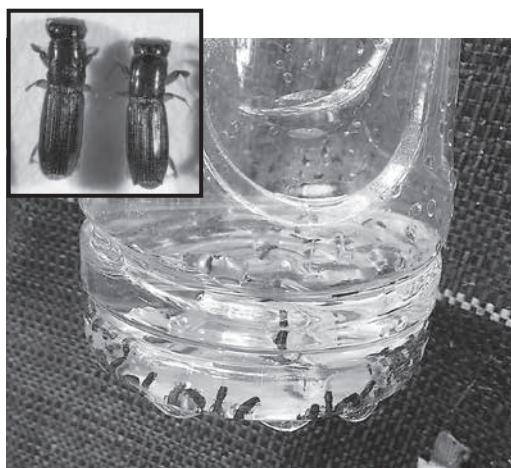


図2 捕獲されたカシナガ

その後11月25日まで発生しました。

初発が確認された6月23日は、スカートトラップで24頭が捕獲されたのに対し、簡易トラップでは112頭でした。また、スカートトラップでは7月27日に発生のピークを迎えました。簡易トラップでは6月29日がピークでした。他の地域でもスカートトラップに比べ、簡易トラップの方が発生初期に多く捕獲される傾向がありました。

さらに、調査した5箇所の初発確認日をトラップの種類別に図4に示しました。トラップの種類で比べると、5箇所中3箇所（普代、大槌、西和賀）ではトラップの種類による確認時期に違いがない一方、2箇所（大船渡、一関）では違いがありました。今回の結果では、どちらかが早いなど一定の傾向はみられませんでした。

4 初発時期の地域及び年度比較

地域による初発は、県北の普代では県南や沿岸南部地域より遅い時期に確認されました（図4）。内陸では西和賀で、一関に比べやや遅い傾向がみられました。

初発時期を令和元年度のスカートトラップ調査結果と比較すると、令和元年度の初発確認日は、一関が6

月24日、大槌町が6月27日でしたので、令和2年度の初発時期は、令和元年度より1週間程度早めであったと推察されました。

5 おわりに

2種類のトラップを用いてカシナガの発生時期を調査したところ、今回の調査では初発確認時期に大きな差はみられませんでしたが、簡易トラップでは、設置が容易にできる利点がありました。

岩手県内のカシナガ初発時期は、県北でやや遅いなど地域による違いがみられました。このことから、薬剤散布では、薬剤期間が限られることから、地域ごとの初発時期を考慮した処理が効率的で、回数削減につながるかと考えられます。一方、伐倒駆除では、県北でも、県南地域でのカシナガ発生前までに作業を完了するほうが安全と考えられます。

最後に、調査に当たっては県の現地機関、特に森林保護担当、並びに各市町村の関係部署に御協力をいただきました。ここに記して御礼申し上げます。

林業技術センター 研究部

上席専門研究員 小岩 俊行

019(697)1536

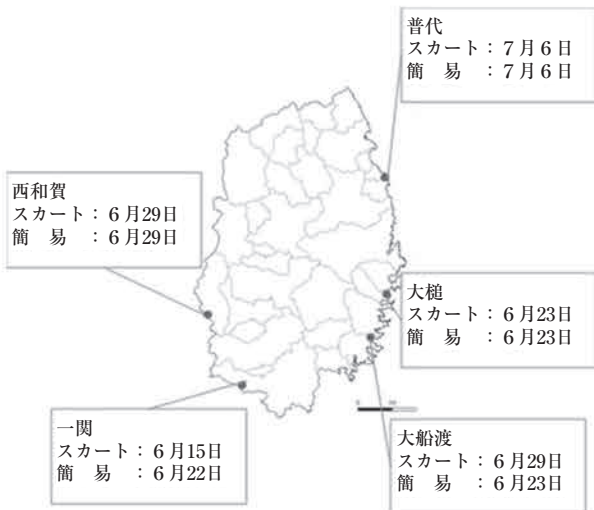


図4 令和2年度における岩手県内のカシナガ初発確認日

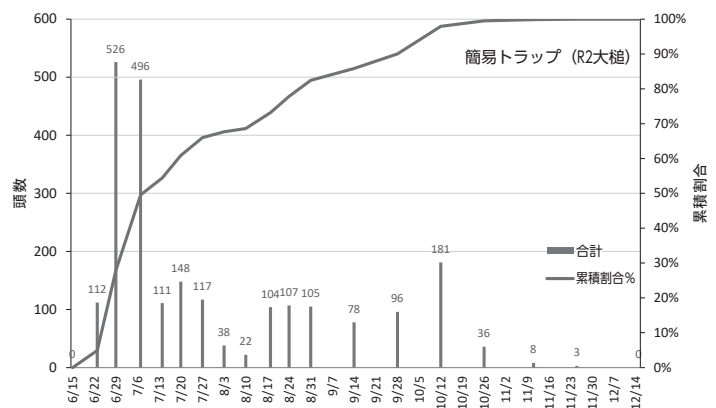
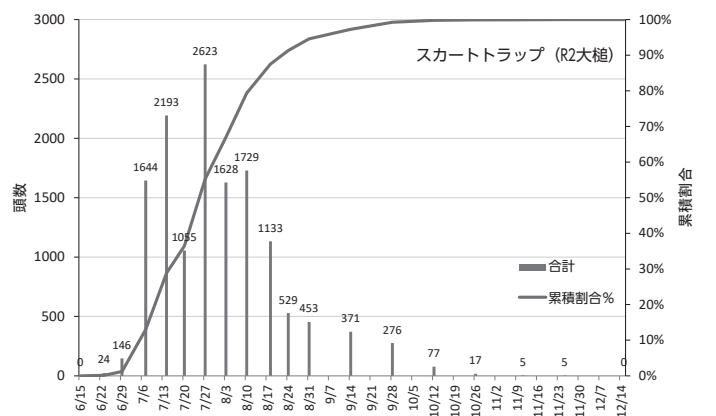


図3 トラップ別カシナガ捕獲経過 大槌町の事例